



喜多町遺跡の発掘調査現地説明会について

1 概要

河内長野市教育委員会では、平成27年2月23日から、喜多町遺跡（河内長野市喜多町・上田町）内にて住宅開発にともなう発掘調査を実施している。

喜多町遺跡は、縄文時代、古墳時代、奈良時代、中世の複合遺跡である。中心となる時代は古墳時代後期であり、遺構・遺物が最も多量に検出・出土している。

今回の調査の結果、古墳時代後期から古代にかけての、掘立柱建物跡や土坑、溝などを検出した。また、古墳時代後期の遺物も出土した。

この調査結果を広く伝えるため、下記の要領で現地説明会を実施します。

記

遺跡名	喜多町遺跡（きたちょういせき）
調査面積	約900㎡
調査期間	平成27年2月23日～平成27年5月（予定）
主な遺構	掘立柱建物跡、土坑、溝など
主な遺物	須恵器 <small>すえき</small> の坏 <small>つき</small> ・蓋 <small>ふた</small> ・提瓶 <small>ていへい</small> 、土師器 <small>わん</small> の壺 <small>こしき</small> ・甑 <small>こしき</small> など
日時	平成27年4月26日（日） 午前10時～正午
場所	河内長野市喜多町（下記地図のとおり）
交通	南海・近鉄電車「河内長野駅」から徒歩約15分

※少雨決行、荒天時中止

※事前申し込み不要・参加費無料。

※足元が悪いことが予想されますので、運動靴など歩きやすい靴・長靴を履いてご来場ください。

※駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

問い合わせ 河内長野市教育委員会ふるさと交流課（☎0721-53-1111）



第1図 調査地点位置図



第2図 古墳時代の建物跡



第3図 出土した古墳時代の土器